

# A Room for Communication

## コミュニケーションの部屋



1. 野田哲也 《日記 1971年 5月15日》1971(昭和 46)年 木版、スクリーンプリント、紙

**プレス向け解説会のご案内**  
2021年8月15日(日) 13時30分から

プレス関係者を対象に解説会を実施いたします。ぜひ、この機会を利用して取材していただき、「コミュニケーションの部屋」の魅力を発信していただきますようお願い申し上げます。

## 2021.8.15 sun-10.10 sun

今回の展覧会は、「コミュニケーション」がテーマです。近年ではメールやSNS、オンラインミーティングといった、デジタルベースのコミュニケーションが活発になっていますが、本来コミュニケーションとは、なんらかの情報を伝え、「共有」することを指します。つまり道具のいらぬ一番シンプルな方法は、ひとところに集まり会って話すこと、「いま・ここ」を共有することです。

「いま・ここ」を共有するという意味では、美術館の展覧会は、まさにコミュニケーションのための場だと言えます。そうは言っても「あまりおしゃべりしてはいけない雰囲気なのに、なぜ?」「ひとりで来ているけれど、なぜ?」と思われるかもしれません。しかし作品とじっくり向き合い、作者の考え方を追体験することは、わたしたち一人ひとりと作品と

のコミュニケーションのかたちです。さらには互いに知らない者同士でも、各自の見方や意見がさまざまに重なったり、ズれていることに気づいたりすることで、作品という存在を介してコミュニケーションをすることができます。作られた時代も地域も違う作品が集う場所を共有する——そこにはもはや時間や空間の制限はありません。まさに展覧会はコミュニケーションのための特別な空間です。

では展覧会という場では、どのようなコミュニケーションが生まれているのでしょうか。展覧会に並ぶ作品の作者、展覧会を見る人、そして展覧会を作る美術館の立場も含めたさまざまなコミュニケーションのかたちを、まさに「コミュニケーションの部屋」である展覧会において、考えてみたいと思います。

# A Room for Communication

## コミュニケーションの部屋

### 開催概要

- 会期** : 2021年8月15日(日)～10月10日(日)
- 会場** : 和歌山県立近代美術館 2階展示室
- 開館時間** : 9時30分～17時 [入場は16時30分まで]
- 休館日** : 月曜日 [ただし、9月20日は開館し、翌21日休館]
- 観覧料** : 一般:520 [410]円 大学生:300 [260]円 []内は20名以上の団体料金  
\* 高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料  
\* 8月28日、9月25日 [毎月第4土曜日]は「紀陽文化財団の日」として、大学生無料  
\* 9月5日、10月3日 [毎月第1日曜日]は入館無料
- 主催** : 和歌山県立近代美術館

### 特別出品

本展はコレクションを中心とした企画展ですが、奈良県障害者芸術祭「HAPPY SPOT NARA 2011-2012」を契機に、前川紘士氏と那須大輔氏が行った協働制作のアーカイブ展示を行います。

#### 前川 紘士 まえかわ こうじ

1980年生まれ。2007年京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。複数の個人的関心に基づく異なるアプローチで、様々な表現や実践、研究を行う。近年の主な活動に、「ユニバーサル・ミュージアム——さわる！“触”の大博覧会」国立民族学博物館/大阪(2021)、「アーティスト・イン・レジデンス」DRAWinternational/ケリュ、フランス(2021)、「ファンダメンタルズバザール」日本科学未来館/東京(2021)、「釜ヶ崎の表現と世間をめぐる研究会」NPO法人こえとことばとこころの部屋(通称:cocoroom)/大阪(2019-)など。



この映像作品は、アーカイブ展示  
前川紘士・那須大輔  
「D50の時間」2011-2021  
の一部として展示します

2. 前川紘士《風景に同期する》2011(平成23)年 映像 個人蔵  
(那須大輔との協働制作「D50の時間」2011-2021の一部)

## 関連事業

**新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内容の変更、事業の中止を行う場合があります。  
変更があった場合は、美術館のウェブサイトでお知らせします。**

### ▶フロアレクチャー（学芸員による展示解説）

日時：9月11日（土）、10月10日（日） 両日とも14：00 から1時間程度  
＊展示室にて、観覧券が必要です。

### ▶こども美術館部（小学生対象の作品鑑賞会）

テーマ「こみにゅこみゅにけーしょん」

日時：10月2日（土）、3日（日） 両日とも11：00 から1時間程度

＊定員6名程度、小学生対象

＊当館ウェブサイト（<https://www.momaw.jp>）より事前に参加申込み  
が必要 [申込開始：9月14日（火）9：30～]

＊展示室に同伴される保護者は観覧券が必要です。



過去の「こども美術館部」の様子

### ▶だれでも美術館部（みんなで話しをしながら作品を楽しむ観賞会）

日時：9月26日（日）、10月2日（土） 両日とも14：00 から1時間程度

＊定員6名程度

＊当館ウェブサイト（<https://www.momaw.jp>）より事前に参加申込み  
が必要 [申込開始：9月7日（火）9：30～]

＊10月2日（土）には手話通訳のサポートがあります。

障害の有無にかかわらず、ご参加いただけます。



過去の「だれでも美術館部」の様子

### ▶アーティスト・トーク & ワークショップ

出品作家の前川紘士さんをお招きして、アーティスト・トークとワークショップを開催します。

（1日のみの参加も可能）

主催：NPO法人和歌山芸術文化支援協会 協力：和歌山県立近代美術館

助成：令和3年度和歌山県文化振興事業補助事業

#### ●アーティスト・トーク（申込不要）

障害のある方と協働した創作活動や、人々の「居場所づくり」と美術活動の関係について、  
前川紘士さんの視点からお話しいたします。

日時：9月18日（土）14：00～16：00 場所：和歌山県立近代美術館ホール

参加費：無料

#### ●ワークショップ「ものまね関係」（小学生以上対象・要事前申込・先着順）

「まねる」ことをキーワードに、いろいろな方法で遊びながら、創作活動を行います。

日時：9月19日（日）13：00～15：30 場所：和歌山県立近代美術館ホール

対象：小学生以上 定員：15人程度 参加費：500円

＊NPO法人和歌山芸術文化支援協会のメール（[office@wacss.org](mailto:office@wacss.org)）か

電話（073-454-5858）へ申し込んでください。申込開始：8月10日（火）

2021年9月20日（月・祝）～10月10日（日）の期間で、館内にてワークショップの

成果展示を行います。



（参考作品）

上：那須大輔《ぶどう》2011

下：前川紘士《ぶどうの思い出》  
2021

### ▶WAKAYAMA COFFEE MARKET *Communication over Coffee!*

和歌山県内のコーヒー店の焙煎士が、同じ産地の豆をそれぞれに焙煎して、その違いを楽しんでいただくイベントです。詳細が決まり次第、当館webサイト（<https://www.momaw.jp>）に掲載します。

カフェBring Book Storeのインスタグラム等でも、随時情報を発信します。

日時：10月2日（土）、3日（日） 場所：和歌山県立近代美術館入口附近 [屋外]

## 主な出品作品

\*図版のトリミング、文字のせはご遠慮ください。

\*所蔵表記のないもの(図版番号2以外)は、すべて和歌山県立近代美術館蔵です



3. 君平 《7.62MM 7色入》2007(平成19)年  
薬莖、クレヨンパステル



4. トーマス・ルフ《肖像(P. フリース)》  
1987(昭和62)年 写真  
©Thomas Ruff / Courtesy of Gallery  
Koyanagi



5. 森口宏一《動詞の習作・持つ》1975(昭和50)年  
ステンレススチール、アルミニウム



6. 村井正誠《姉妹》1930(昭和5)年  
油彩、キャンバス

## 同時期に開催の展覧会

- ▶ コレクション展 2021-夏  
なつやすみの美術館 11 野田祐示「集まる庭」  
日程：7月17日(土)～9月26日(日)
- ▶ 【県立博物館(と)の展覧会】  
企画展「きのくにの宗教美術  
—神仏のさまざまな姿—」  
日程：8月28日(土)～10月3日(日)

## 和歌山県立近代美術館

学芸担当：青木 加苗 広報担当：中川、角  
〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上1-4-14  
TEL：073-436-8690  
FAX：073-436-1337  
E-MAIL：moma\_w@future.ocn.ne.jp  
WEB：https://www.momaw.jp